

【担当教員名】 岩田みどり	対象学年	2	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：GIO>】

本科目では、家族看護学の主な理論を理解し、発達課題や家族関係を分析する上で必要となるアセスメントの能力を修得する。また、代表的な事例を用いて、家族の問題を明確化する過程を理解し、家族を支援する看護師に必要な能力について認識する。

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】

1. 現代社会の家族の状況や、家族看護学の経緯について述べられる
2. 家族看護学に活用されている諸理論について述べられる。
3. 家族アセスメント・モデルの概要について述べられる。
4. 家族看護の具体的事例から家族看護を説明する。
5. 家族看護学に置ける看護師の在り方について考える。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	現代社会の家族の心理社会的状況や、家族看護学の経緯について学習する。	1	講義
2, 3	家族看護学に活用されている諸理論、家族の発達段階について学習する。	2	講義
4, 5	家族アセスメント・モデルについて学習する。また、ジェノグラム・エコマップを具体的に記述する。	3	講義・演習
6, 7	家族看護の具体的事例（入院中の子どもと家族）から家族看護を説明する。	4	講義
8~13	家族看護の具体的事例から家族看護を説明する。グループで具体的事例を検討し、ロールプレイによる発表から理解した家族の心理社会的状況と、必要な援助について考える。	4, 5	グループワーク
14	がんの子どもと家族への援助	4	講義（講師依頼）
15	筆記テスト		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	家族看護学 第3版	鈴木和子他	看護協会出版会	2005 3,360円(税込み)
参考書	講義の中で紹介する。			
その他の資料	講義の中で紹介する。			
【評価方法】 筆記テスト50% グループ課題レポート40% 出席10%	【履修上の留意点】 初回の講義で説明する。			